

令和4年度の総合戦略主要施策について

【市評価の方法】

各担当課において、事業内容・規模等の下段に事業実績を、達成値に目標項目の達成値を、評価は次のA～Dの基準で判定し記入する。
 A:達成率100%以上(地方創生に非常に効果的であった) B:達成率50～99%(地方創生に効果があった) C:達成率1～49%(地方創生の効果が低かった) D:達成率0%または事業未実施(地方創生の効果がなかった)

重点戦略1	対馬ならではの雇用・なりわいを創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和4年度末実績	達成率	備考
			新規創業件数	35件(1期5か年累計)	42件(6か年累計)【年間7件】	1件(累計5件)	11.9%	
			総合戦略各種事業による新規雇用者数	年間87名	年間90名	年間32名	35.6%	
			U!ターナー者の就業者数	-	年間20名	年間4名	20.0%	
			高卒就労者の地元就職率	36.70%	50.00%	57.38%	114.8%	61名中35名

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
特定有人国境離島雇用機会拡充支援事業	特定有人国境離島地域において、新規創業や事業拡大を行う個人及び事業者に対し、設備導入や人件費等の費用を助成し、雇用の拡充を後押しする。	地域社会維持推進交付金	しまの力創生課	週20時間以上の雇用を伴う創業または事業拡大を行う者に対して事業費の一部を支援します。 補助率:3/4 創業:上限450万円 事業拡大(設備投資有り):上限1,200万円 事業拡大(設備投資無し):上限900万円	・対馬市雇用機会拡充支援事業補助金 審査会等、経費一式 ・島外事業者説明会開催	新規創業件数	3件	1件	B	B	新規雇用者として挙がっているが、これは会社を移っただけかもしれない、今まで働いていなかった者が働いたかを把握してもらいたい。ただ会社を移っただけでは新規の雇用者と言えないのでは。	有人国境離島新法関係について、既存のメニューについては実施しているが、新たなメニューの創設を考えながら発展・活用していくことを考えるように。
					・新規採択事業者 16件 ・継続・複数年採択事業者 21件	新規雇用者数	20人	32人				
					うちU!ターナー者	5人	2人					
創業等支援事業	市内における新規創業や新分野への取組に対する支援及び各種セミナー及びハンズオン支援の実施など、域内での新たな創業を後押しする。	創業準備セミナー	しまの力創生課	創業を行う上で必要な知識を学び、自身の持つビジネスプランを事業化するためのセミナー及び個別指導を行う。	セミナー(2回)開催 創業支援アドバイザー派遣	新規創業件数	1件	0件	C	C	新規の創業者が2年後3年後も続いているかどうかそういったところも調査をやっていただきたい。	
					セミナー1日(4時間)を年1回開催 支援者1団体×3回(4時間)	新規雇用者数	1人	0人				
		創業等支援事業補助金	創業や新商品の開発、販路拡大等に取り組まれる方に補助金を交付し支援します。	事業拡大応援事業、創業応援事業、人材育成応援事業を実施	セミナー開催数	2回	1回					
				人材育成支援事業実施	支援事業者数(年間)	70社	32社					
既存事業者フォローアップ事業	第1期総合戦略での事業により新規創業及び事業拡大を行った事業者等に対し、必要に応じ、経営状況の確認やアドバイザーの派遣、ハンズオン支援等により継続した取組みとなるようフォローアップする。	既存事業者フォローアップ事業	しまの力創生課	これまで起業や事業拡大を支援した事業者を中心にアドバイザー派遣等によるハンズオン支援を実施する。また、事業者と求職者のマッチングの機会を提供する。	アドバイザー派遣、就職等相談会の開催	アドバイザー派遣件数	3件	3件	B	B		
					・支援者1団体×3回(4時間)	支援事業者数	5社	37社				
		観光アドバイザー派遣事業	観光商工課	地元と観光産業関係者(宿泊施設、飲食店等)を対象におもてなしのスキルアップのため、アドバイザーを派遣する。	就職等相談会開催数	5回	2回					
特定有人国境離島漁村支援交付金	特定有人国境離島地域の漁業集落が行う雇用機会の拡充を図るための取組を支援する。	特定有人国境離島漁村支援交付金	水産課	(雇用を創出するための取組) 新たな漁業又は海業に取り組む者、あるいは漁業又は海業の事業規模の拡大を行う者を漁業集落が支援する場合に要する一定の経費を支援します。 (雇用の創出を円滑に行うための環境整備) 漁業集落が雇用を創出するための取組を進める上で基盤となる良好な集落環境を整備するのに要する一定の経費を支援します。	観光客や旅行社のニーズを反映させた受入体制の強化をはじめ観光産業関係者を対象に、おもてなしのスキルアップを図るため、アドバイザーを派遣する。	観光アドバイザー派遣日数	年間100日	年間101日	B	B		
					・アドバイザー派遣(101日)	新規創業件数	7件	4件				
					・漁業又は海業の起業又は事業拡大に要する経費に対する支援 ・漁業集落内の景観の維持又は保全に要する経費に対する支援	新規雇用者数のうち、U!ターナー者数	4人	2人				
企業誘致奨励事業	コールセンター、宿泊施設等、研究機関など、若い女性が働ける場、若い方が求める職種を基本とした企業誘致を強力に推進し、若者のニーズにあった雇用の機会を提供していく。	企業誘致事業	観光商工課	国内の企業に対して、対馬の産業との相乗効果をもたらす企業の対馬進出を促すために往訪活動を行う。	福岡・東京 各1回	訪問企業数	5社	3社	C	C	第一次産業、例えば林業など入ってこれるような条例に緩和ができれば、企業誘致もしやすくなるのではないかと。	企業誘致を進めようとするならば専門の部署を作るべきでは、人員配置等での増強を検討したい。
					誘致対象企業に対するウェブ面談、先方からの訪問対応、企業情報調査の対応	新規雇用者数	2人	0人				
		企業誘致事業(奨励金)	事業者の雇用に応じて、雇用奨励金を支出し、雇用の維持、拡大を奨励します。									
第1次産業プラス副業による所得向上支援事業	農林水産業従事者等の所得向上及びU!ターナー者の生活の安定のため、第1次産業プラス副業を行う者を対象に初期段階での取組に対し、一定の支援を行う。	制度設計	政策企画課 他	令和4年度に制度を構築する。	関係部局との協議、制度設計	制度設計のためのPT開催回数	2回	2回	C	C	移住者が来たときに、対馬に求めるものは、自然での仕事だとは思いますが、一方で安定した給料も欲しい。昔、対馬は副業が当たり前だったと思うので、それを現代版で蘇らせるっていうのは移住政策としても非常に魅力的。もう少し踏み込んで、政策として積極的にやっていただきたい。	
					制度設計ため、2回PTを開催	事業制度(案)の構築	完了	未完				

重点戦略2	島の魅力を活かした交流・移住・定住を促す！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和4年度末実績	達成率	備考
			転入者に対する本戦略による移住者の割合	8.40%	20.00%	11.2%	56.0%	1,134人中127人
			島内高校進学率	66.20%	80.00%	70.26%	87.8%	232人中163人
			国内外観光客実数	537,122人	600,000人	131,807人	22.0%	

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
島っこ留学推進事業	都市部の小中学生に対馬の風土、環境を活かした留学生を募集し小規模校への留学を進めることで域外からの移住を拡大する。	島っこ留学推進事業	教育委員会 教育総務課	留学を考えている方を対象とした体験留学、HP、SNS等による情報発信、福岡市での事業説明会等を実施することで小中学生の留学生を拡大させる。	<ul style="list-style-type: none"> 里親委託料 広報事業 事前視察・帰省補助、歓迎会、事業説明会 等 	体験留学参加世帯数	5世帯	0世帯	C	C		
					留学生年間在籍者数	13人	1人					
					里親受け入れ可能人数	15人	1人					
					事前訪問世帯数	6世帯	4世帯					
島づくり人財育成事業	Society5.0や人口急減社会といった急激な社会変動に順応し、地域創生に向けたイノベーションやリーダーシップ力を発揮する「実践型人財」育成のための各種事業を実施する。	島づくり人財育成事業	SDGs推進課	Society5.0や人口急減社会といった急激な社会変化に順応しながら、地方創生SDGsに向けたイノベーションやリーダーシップ力を発揮できる「実践型人財」の育成を、第1次総合戦略で推進してきた域学連携での大学ネットワークやESD(持続可能な地域の担い手づくり)の知見等を活かして強力に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 対馬グローバル大学開催事業、ニホンミツバチ・ハチミツ成分解析及びせんだんご速醸実証研究事業、対馬学フォーラム開催事業、域学連携活動・滞在拠点施設運営事業、対馬SDGs研究奨励補助金(市民研究員研究活動費含む)、対馬グローバル大学及び域学連携参加学生誘致PR活動 	本事業による移住定住者数	3人	1人	A	A		
					島外参加者数	220人	398人					
					<ul style="list-style-type: none"> 対馬グローバル大学 延べ151名(市内95名、市外56名)受講 対馬学フォーラム 市内外より194名参加 SDGs研究奨励補助金 7件交付 学生等の滞在拠点の運営、連携大学との共同研究事業やインターン生の受入等を実施 	市民研究員及びイノベーター登録数	15人	15人				
U・Iターン推進事業	本市へのU・Iターンを推進するため、移住希望者への情報発信、空き家バンク制度、お試し住宅・定住支援住宅の整備、運用をはじめ、奨学金返還支援・ふるさと就職奨励・結婚移住奨励・しま暮らし支援等の各種補助事業を実施する。	U・Iターン推進事業	地域づくり課	対馬市に5年以上定住する意思のある者に対し、ふるさと就職奨励、結婚移住奨励、島暮らし支援、奨学金返還支援等の各種支援を行うとともに、お試し住宅、定住支援住宅の運用、空き家バンク制度の拡充により、本市への移住者を拡大させる。		移住者数	100人	126人	A	A	移住者が増えている状況であるが、ターゲットを若い女性の方とくに絞って取り組んでもいいのではないかと、Uターン、Iターンに分けて、数値化すればもっとわかりやすく評価ができるのではないかと。	
					移住者定住者に対する各種支援、お試し住宅・定住支援住宅の運用、空き家バンク制度の拡充、移住者向けポータルサイト等による情報発信、島内及び都市部でのお仕事説明会、移住相談会の開催 等	移住に係る相談件数	300件	470件				
						ふるさと就職奨励金受給人数	5人	15人				
						結婚移住奨励金受給人数	10人	9人				
						しま暮らし支援補助金受給人数	50人	61人				
					<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住推進事業補助金 115件 	奨学金返還支援補助金受給人数	5人	28人				
					<ul style="list-style-type: none"> 移住者用住宅の運用 お試し住宅利用:10件20名(うち4件6名が移住) 定住支援住宅利用:6世帯11名(R5.3.31時点) 	空き家バンク登録件数	10件	12件				
					<ul style="list-style-type: none"> 対馬市お仕事説明会(市内)、対馬ぐらしフェア(福岡市)の開催、及び都市部での移住相談会への参加 	ポータルサイトのアクセス数	36,000件	31,586件				

重点戦略2の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業	中学生までの段階で特にスポーツ[陸上、野球等]で好成績を残している生徒が、中学校卒業後、より高い環境を求め島外の強豪校に推薦等で進学しており、これが島内高校進学率の低さにつながっている。また、吹奏楽等の文化部門においても、同様のことがいえることから、県立高校であり、市の関与は難しいもの市が雇用する形で3校の特色に応じ、ひとつの分野に絞った指導者の招聘を推進する。	指導者発掘事業	政策企画課	島内3高校の招へい分野の決定及び県教委との調整完了後、候補人材への依頼、具体的なアクションを起こす。	年間通じ、実施。(人材発掘のための委託も含め検討)	地元出身者及び著名な人材への働きかけ	実施	実施	B	B	令和6年度までの目標が設定されているが、令和6年度以降についても進めていくかどうか検討する必要があるのではないかと。SDGsの流れの中で企業がどんどん対馬に来て研究をしたり、あるいはSDGs未来都市として市の方でグローバル大学をしている。その10年の蓄積がある中で教育産業みたいなものが対馬ではこれから一つの大きな産業になってくるんじゃないかと。高校にとらわれずに専門職短期大学や外国人の方も含めた対馬での国際交流、SDGsを学べる島、新しい学び直しなど、農林水産業の持続可能な担い手の確保も含めて、高等教育機関を立ち上げるのを検討しては、	今年是对馬高校陸上部への指導者派遣などに取り組んでいるので今後力を入れていってほしい。
		島外遠征費助成事業	政策企画課	市内に所在する高等学校の魅力化を推進するため、部活動の強化のため島外への遠征・合宿等に要する経費の軽減を図る。	対馬市高等学校文化・スポーツ活動支援事業補助金交付要綱(仮称)の制定 支援制度の制定に向けて、各高校より遠征等の調査を実施。支援制度の交付要綱(案)の検討。	遠征費等の助成金の制度設計	制度設計完了	制度設計完了				
		高校魅力化推進懇話会	総務課	上記事業の進捗管理、島内中学校への情報発信等を行う機関として開催する。	懇話会開催:年2回程度 開催なし	対馬市高校魅力化推進懇話会開催回数	2回	0回				
大学関係プロジェクト	明治大学自動運転社会総合研究所等との連携により、少子高齢化、過疎化が進んだ地域における自動運転技術利用の可能性や有効性を実証実験し、自動運転バスの実装など、持続可能な公共交通体系を目指す。	自動運転バス等実証実験事業	しまの力創生課	公道における自動運転技術の実装化に向け、各関係機関との調整や市内の状況を調査したうえで市内での実証路線の選定を行い実証実験を行う。	事業に関する打ち合わせ等 毎週約2回 オンラインでの会議開催自動運転テスト走行1回、実証実験1回 地域で運行するための技術移管	自動運転バス実証実験路線数	2路線	1路線	C	C		
中対馬アクションプラン推進事業	鳥帽子岳、和多都美神社等の観光資源を有しながら、現在、観光客の通過地となっている対馬中地区において、各種体験メニューと宿泊施設の充実を図ることで中対馬地域の活性化を図る。	中対馬アクションプラン推進事業	中対馬振興部	本地域は和多都美神社や風光明媚な原風景、日本有数の自然海岸延長を誇る浅茅湾を一望できる鳥帽子岳等様々な歴史、観光資源を有しているが、現状、対馬北部と南部を結ぶ通過地に留まっていることから宿泊機能、体験メニュー等の拡充により、観光客の滞留時間を拡大し、地元消費を促すことで地域の活性化を図る。	観光PR推進事業 シーカヤックインストラクター、SUPインストラクター養成事業 ご当地スイーツ研究事業 青海の花畑スポット整備事業	神話の里自然公園 キャンプ場利用者数	5,835人	100人	C	C		
					福岡市内の駅等での広告事業並びにラジオ番組、ラジオCMでのPR、神話の里自然公園でのライトアップを実施 未実施 「せん」を使った「せんかりん」と対馬の伝統的な「せんちまき」のレシビを作成し、広報等で周知を行うとともに、せん粉にレシビを添付し、販売するためのパッケージ等の開発 未実施	各種体験事業 利用人数	190人	5人				
交流人口拡大推進事業	対馬の観光情報発信、宿泊施設機能向上、インバウンド対策、おもてなしセミナー、ガイド人材育成等、国内外PR及び受け入れ体制整備等、複数の事業を一体的に実施することで、交流人口の拡大を図る。	交流人口拡大推進事業	観光工商課	韓国人観光客の激減、コロナ感染症の影響により減少の一途をたどる国内外観光客等交流人口の拡大のため、受け入れ体制の整備をはじめ、東アジア圏を中心とした誘客活動、福岡、東京等都市部からの国内客誘致に向け、一体的な取組を行う。	事業者間ワークショップ開催、セミナーの開催、観光満足度調査の実施、インバウンド復活期への備え ガイド養成講座の開催、インタープリターの養成 (一社)長崎県観光連盟実施による「長崎しま旅」事業への負担金支出	おもてなしセミナー 開催回数	3回	4回	B	B		
					事業者間ワークショップ開催(7回)、セミナーの開催(4回)、観光満足度調査の実施、インバウンド復活期への備え ガイド養成講座の開催(6回)、ガイド養成講座によるインタープリターの養成(8回)、ガイド人員の増加(5名)、インタープリターの養成(3名) (一社)長崎県観光連盟実施による「長崎しま旅」事業への負担金支出	おもてなしセミナー 参加者数	90人	135人				
						ガイド人材養成数	15人	5人				
						国内客誘客数	150,000人	129,403人				
		韓国客誘客数	200,000人	2,404人								

重点戦略2の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
対馬博物館建設事業	対馬の歴史・文化・交流の拠点として、対馬を代表する歴史的文化遺産を保全するとともに、他の郷土館や史跡、観光地との連動により観光振興と地域振興を目指す。	対馬博物館建設事業	博物館学芸課	令和3年度の開館に向け、周知PR、特別展の企画等を行う。	PRイベントの開催、特別展の内容検討、開館に向けた各種準備を行う。	イベント開催数	2回	10回	B	B	かなり力を入れて、PRをしているにも関わらず、入場者については、なかなか思うような実績が上がっていない。リピーターを獲得できるようにアンケート等の実施や、韓国人観光客用に韓国語表記の説明、音声ガイド、料金の設定等も必要ではないか。	
					・講演会・ワークショップ等 10回開催 ・特別展 2回開催 ・次年度特別展開催準備	入場者数	90,000人	38,302人				
						特別展開催数	2回	2回				
対馬博物館文化財魅力発信事業	令和2年度の博物館開館にあわせ、北部九州地域や関西、東京圏へのPR、メディア等を活用した情報発信等を実施する。	対馬博物館文化財魅力発信事業	博物館学芸課	令和2年度の博物館開館にあわせ、北部九州地域や関西、東京圏へのPR、メディア等を活用した情報発信等を実施する。	都市部や全国博物館と連携したPR活動、国外へのPR活動、HPの開設等による情報発信	PR件数 (国内向け)	5件	6件	A	A	PR件数も情報発信件数も目標を超過達成している。それであればその結果として、対馬博物館の入場者数に繋がらないといけないはずだが、入場者数の方は目標に達成していない。PRは目標を超過したのに、来た人が目標に達しなかったということは、PRの効果自体が疑わしいという話になりかねないし、逆に言うとPR以外の要素で入場者数が増減するならば、PRが必要な事業としての正当性とか有効性が疑われるので、きちんと検証するように。	
					国内PR活動(他の博物館及び学会等6か所)、国外PR活動(韓国国内の官公庁及び博物館等7か所)、PR用パネルグッズの製作	PR件数 (国外向け)	2件	7件				
						情報発信 (HPの開設)	20,000回	109,579回				

重点戦略3	安心して結婚・出産・子育てができる環境を創る！	重要業績評価指標 (KPI)	項目	平成30年度末	令和7年度末目標	令和4年度末実績	達成率	備考
			合計特殊出生率	2.18人	2.40人	1.51人	62.92%	
子育て支援に対する市民満足度	40.2%【就学児】 42.8%【未就学児】		60.00%	-	-	R5に実施予定(隔年)		
本戦略事業による婚姻数	3組		年間5組【累計30組】	3組【累計9組】	30.0%			
待機児童数(年間を通じ)	8人(年度中途の時点)		常時0人	8人	-	年度途中で発生		
シルバー人材センター登録者数	127人		200人	181人	90.50%			
重点戦略4	高齢者が健康で生きがいを感じられる環境を創る！		シルバー人材センター延べ業務日数	2,625日	5,000日	4,231日	84.62%	

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
幼児教育・保育の無償化事業	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑みて実施する。	幼児教育・保育の無償化事業	こども未来課 政策企画課	幼児教育の負担軽減を図る少子化対策と、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を鑑み、幼稚園・保育所・こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども並びに住民税非課税世帯を対象に0歳から2歳児までの子どもの保育料を無償化する。	通年(随時)	市民満足度	(R5に実施)	-	B	B	新たな目標である「対象年齢の子どもにおける施設の利用率」について、利用したい人のうち利用した人の施設利用率を把握した方がいいのではないか。計算の方法を申込者数のうち入れた人の率に変更しては、	待機児童が年度途中で発生するため、年度途中に入所希望者が出ることも考慮して職員を確保しないといけない。
					実施	待機児童数	常時0人	8人				
対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業 【重点戦略2と重複】 再掲事業	中学生までの段階で特にスポーツ[陸上、野球等]で好成績を残している生徒が、中学校卒業後、より高い環境を求め島外の強豪校に推薦等で進学しており、これが島内高校進学率の低さにつながっている。また、吹奏楽等の文化部門においても、同様のことがいえることから、県立高校であり、市の関与は難しいものの市が雇用する形で3校の特色に応じ、ひとつの分野に絞った指導者の招聘を推進する。	指導者発掘事業	政策企画課	島内3高校の招へい分野の決定及び県教委との調整完了後、候補人材への依頼、具体的なアクションを起こす。	年間通じ、実施。(人材発掘のための委託も含め検討)	地元出身者及び著名な人材への働きかけ	実施	実施	B	B	【重点戦略2と同じ】	
					対馬3高校、県教育庁、県陸上競技協会との協議 対馬3高校魅力化に向けた普及イベントの実施 指導候補者との面談、協議	人材招聘	1名	1名				
					対馬市高等学校文化・スポーツ活動支援事業補助金交付要綱(仮称)の制定 支援制度の制定に向けて、各高校より遠征等の調査を実施。 支援制度の交付要綱(案)の検討。	遠征費等の助成金の制度設計	制度設計完了	制度設計完了				
島外遠征費助成事業	政策企画課	市内に所在する高等学校の魅力化を推進するため、部活動の強化のため島外への遠征・合宿等に要する経費の軽減を図る。	対馬市高等学校文化・スポーツ活動支援事業補助金交付要綱(仮称)の制定 支援制度の制定に向けて、各高校より遠征等の調査を実施。 支援制度の交付要綱(案)の検討。	対馬市高校魅力化推進懇話会開催回数	2回	0回						
高校魅力化推進懇話会	総務課	上記事業の進捗管理、島内中学校への情報発信等を行う機関として開催する。	懇話会開催:年2回程度 開催なし									
地元事業者への働き方改革推進事業	出産、子育てがしやすい環境を民間企業にも推進していただくため、各種制度の実施に応じ、認定・表彰制度を検討する。	地元事業者への働き方改革推進事業	政策企画課 総務課 保険課 等	男女問わず全ての労働者が働きやすい環境づくりを推進するとともに、仕事と仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方を目指すために、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を市が認定し、支援する	制度設計、事業者への周知、募集開始	制度概要の検討、決定	制度設計完了	完了	B	B		
					制度設計完了	事業者への周知及び取り組み開始	開始	未実施				
縁結びプロジェクト事業	社会福祉協議会や商工会青年部等との連携により、市内男女の未婚・晩婚化対策のため、出会いの場創出から交際、結婚までのフォローアップを実施する。	つしま縁結びプロジェクト事業	地域づくり課	婚活イベントを実施する団体や協力者とともに実行委員会を構成し、イベント実施や個別カウンセリングにより、出会いの場の提供から成婚へと繋げる。	婚活イベント、個別カウンセリングの実施	イベント開催数	3回	2回	B	B	マッチングアプリの流行により女性の参加者が減っているという問題があるならば、今後の目標達成がますます厳しくなっていくのではないかと。行政もマッチングアプリに協力できる部分があればいいのではどうか。 移住予定の方、対馬市に住所がない方も参加できるようにしてはどうだろうか。移住予定ではあるものの、まだ住所を対馬に置いていないため、移住前から婚活イベントに参加したくても参加できない。	
					婚活イベント実施回数:3回、婚活セミナー:1回 カウンセリング件数(電話・メール等):1,001回	イベント参加者数	80人	48人				
						カップル成立数	20組	18組				
						婚姻組数	3組	3組				

重点戦略3・4の続き

主要施策	主要施策の取組内容	実施事業の名称	担当課	事業概要	事業内容・規模等 上段:計画、下段:実績	施策の目標		令和4年度達成値・評価		総合戦略推進会議の検証		市議会の検証
						目標項目	目標値	達成値	市評価	評価	意見	意見
対馬市シルバー人材センター活用事業	全島組織化したシルバー人材センターを拠点に労働力確保、高齢者の生きがいづくりを推進する。	対馬市シルバー人材センター活用事業	福祉課	働く意欲を持っている高齢者のために、その知識、経験、希望に沿った補助的、短期的な就業の機会を確保し、高齢者の生きがいとその能力を増進し、地域社会づくりに寄与することを目的に「対馬市シルバー人材センター」を運営、組織強化を図る。	対馬市シルバー人材センターへノ運営費補助	会員数	170人	181人	B	B		
					対馬市シルバー人材センターへノ運営費補助	年間延べ業務日数	4,700日	4,231日				
					センターの公益財団法人化	R7迄に	-					
地域包括ケアシステム推進事業 (小さな拠点形成も含まれる)	「対馬における地域包括ケアシステムのあり方について」の提言内容を基本に、「医療」、「介護」、「生活支援」、「予防」、「住まい」の5つの柱毎の施策を推進する。 【主な内容】 (医療)病院と診療所間で最新の診療情報を相互に閲覧できる環境整備や医療人材の確保等 (介護)デイサービス、ショートステイ整備の拡充及び人材確保等 (生活支援)見守り、買い物支援、交通支援、ボランティア人材の拡充等	コミュニティバス実証運行	地域づくり課	コミュニティバスの運行と検証を実施する。	地域主体によるコミュニティバスの運行と検証	コミュニティバス年間延べ利用者数	900人	947人	A	A	制度自体をもう少し情報提供する必要があるのでは。	
		認知症支援体制推進事業	地域包括ケア推進課	認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する理解者を増やし、認知症になっても暮らしやすい街を作る。	認知症サポーター養成講座の実施 10回	認知症サポーター登録者数	200人	412人				
		地域包括ケアシステムに関するセミナー開催	地域包括ケア推進課	地域包括ケアシステムの推進を図るために、市職員向けのセミナーや、市民向けのセミナーを開催する。	地域包括ケアシステムに関するセミナー開催	セミナー開催数	3回	3回				
		一体的介護予防のための人材事業	地域包括ケア推進課 いきいき健康課 保険課	保健事業で行っていた疾病予防・重症化予防と併せて、介護予防も一体的に実施し、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施する。	一体的介護予防のための人材の配置	一体的介護予防のための人材確保数	6人	6人				
		医療介護連携事業	地域包括ケア推進課	医療介護の関係機関が連携して包括的かつ継続的な在宅医療介護の提供を行うために、関係機関が連携し多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築する。	医療介護連携事業(対馬病院へ委託)	医療介護連携相談件数	2,160件	7,169件				
					在宅医療・介護連携推進事業委託、元気なうちから手帳作成							